

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）【理工学部】

理工学部では、カリキュラム・ポリシーに基づいて編成された教育課程にそって理工学の諸分野における専門知識・技能等を習得し、高い倫理観をもって知的探求に取り組み、科学・技術、世界と地域の発展のために活用できる力を身につけた人に対して、学士（理工学）の学位を授与します。

具体的には、つぎの目標に達していることが学位取得の要件です。

- ・教養教育と専門教育をとおして培った幅広い見識と高度な知識・技能等をもとに、自然科学の本質を深く理解し、理工学と社会の動向を見通す力を修得していること。
- ・習得した専門知識・技能等を実践の場に活かすことによって、現代社会が直面するさまざまな課題を解決していく力を修得していること。
- ・自然科学と理工学に対する深い認識と探究心をもって、生涯にわたって自らを成長させていくための力を修得していること。

理工学部では、学部のディプロマ・ポリシーに加え、学科・コース別に以下の内容を修得していることを求めます。

【数物科学科】

数物科学科は、数学と物理学を中心に学び、科学的知識に裏打ちされた応用能力を身につけた人材を育成する観点に立って、各コースでは以下の力を修得していることを求めます。

（数理科学コース）

- ・数学の知識を活かして、科学・技術や社会の問題を分析し、数理的な問題を的確に見極める力、問題の本質を構成する法則性を見いだす力
- ・代数学、幾何学、解析学、応用数学の知識を活かして課題を数理的に解決する力

（物質宇宙物理学コース）

- ・物理学に関連する専門知識を活かして、科学・技術や社会の問題を分析し、課題を見極める力
- ・物理学を礎とする技術者・研究者として、技術革新に対して常に探求しつづける力

（応用計算科学コース）

- ・計算科学に関連する専門知識を活かして、自然や社会への洞察を深化させ、問題を分析し課題を見極める力
- ・数学、物理学、情報科学の視点から、様々な課題を数理的に解決する力

【物質創成化学科】

- ・有機化学、無機化学、分析化学及び物理化学の学習を基盤として、化学の知識と応用力を体系的に修得し、機能性物質の開発、環境調和を指向した機能性材料、リサイクル技術、省エネルギー・省資源技術の研究開発に貢献する力
- ・専門的知識を有し、問題の本質を化学の視点から分析し見極める力
- ・化学に関する専門知識・技能を活かして、科学・技術の発展に貢献していくことができる探求する力

【地球環境防災学科】

- ・地域とグローバルな観点から、地球環境問題や自然災害など日本と世界が直面する課題に対応できる力
- ・日本と世界が直面する地球環境や自然災害に関する課題に対して学びつづける力

【電子情報工学科】

- ・電子工学、情報工学、情報科学、並びにそれらの融合領域における専門知識を有し、社会の実現に

貢献する電子情報分野の技術革新を支える力

- ・高度情報化社会の中で、科学・技術や社会の問題を分析し、課題を見通す力

【機械科学科】

・機械科学科は、機械工学の技術者・研究者として国際的に活躍できる多様で柔軟な思考力、新産業分野に対応することができる人材を育成する観点に立って、各コースでは以下の力を修得していることを求めます。

(知能システムコース)

- ・機械工学を基盤として、機械技術者・研究者の立場から科学・技術や社会の問題を分析し、課題を見いだす力
- ・機械工学をとおして人類や社会が直面する諸課題を解決し、人類の福祉に貢献する具体的な方法を探求する力

(医用システムコース)

- ・機械工学と医用工学の知識を基盤として、人の健康を支える科学・技術や社会の問題を分析し、課題を見通す力
- ・新産業分野として創出が加速される医用システム産業に対応することができる専門家として、人の健康を支える科学・技術、国際社会や地域社会の問題を解決する力

【自然エネルギー学科】

- ・エネルギー変換・貯蔵・利用過程・エネルギーシステム全般・環境に配慮した省エネルギー技術の基礎知識を身につけ、実践的・総合的かつグローバルな視点とローカルな視点から科学的に課題に対応する力
- ・様々なエネルギー技術とその基礎知識を活かして、国際社会や地域社会の問題を解決する力
- ・自然エネルギーをとおして人類の福祉に貢献する具体的な方法を学びつづける力